
1. 業務概要

1.1 業務名

平成 31 年度洋上風力発電施設立地検討のためのセンシティブティマップ作成等委託業務

1.2 委託者

環境省自然環境局野生生物課

1.3 受託者

いであ株式会社

1.4 業務期間

契約日：平成 31 年 4 月 1 日

始：平成 31 年 4 月 2 日

至：令和 2 年 3 月 19 日

1.5 業務目的

平成 27 年 7 月にエネルギー基本計画の方針に基づき策定された「長期エネルギー需給見通し」では、2030 年までに総発電電力量の 22～24%程度を再生可能エネルギーとすることを政府目標としている。

再生可能エネルギーの 1 つである風力発電施設については、これまで、主に陸域で毎年導入量が増加しており、今後洋上風力発電についても増加することが見込まれる。

洋上風力を持続可能な形で拡大させるためには、開発行為と鳥類への影響が懸念される区域が回避・低減される等、自然環境保全との調整が極めて重要であるが、鳥類の採餌域を含めた利用範囲等は把握されていない状況である。そのため、本業務では鳥類への影響が懸念される区域を提示した風力発電における鳥類のセンシティブティマップ（海域版）を作成し、鳥類に配慮した風力発電設備の事業計画の立案に貢献することを目的とした。

本業務では、昨年度実施した「平成 30 年度洋上風力発電施設の立地検討のためのセンシティブティマップ作成等委託業務（以下、「平成 30 年度業務」という。）に引き続き、海域での鳥類の状況を把握する調査を行い、本マップの作成に必要な鳥類の基礎資料を整えとともに有識者を含めた検討会を開催した。そして、平成 30 年度業務の成果、本業務の調査結果及び検討会での議論を踏まえ、本マップの試行版を作成し、環境アセスメントデータベース“EADAS（イーダス）”（<https://www2.env.go.jp/eiadb/ebidbs/>）（以下、「EADAS」という。）に公開する風力発電における鳥類のセンシティブティマップ（海域版）及びそれに付随する資料を作成した。